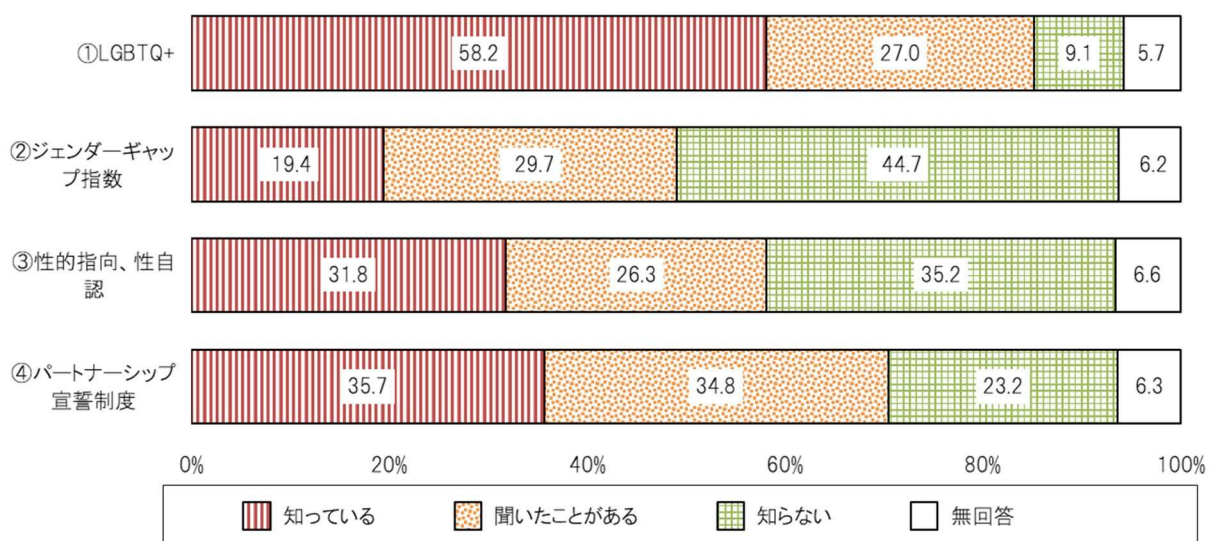


性の多様性について

問 54 次のことばについておききします。①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① LGBTQ+は「知っている」が58.2%と最も高く、次いで「聞いたことがある」27.0%となっている。
- ② ジェンダーギャップ指数は「知らない」が44.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」29.7%となっている。
- ③ 性的指向、性自認は「知らない」35.2%と最も高く、次いで「知っている」31.8%となっている。
- ④ パートナーシップ宣誓制度は「知っている」が35.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」34.8%となっている。

問54 次のことばについておききします



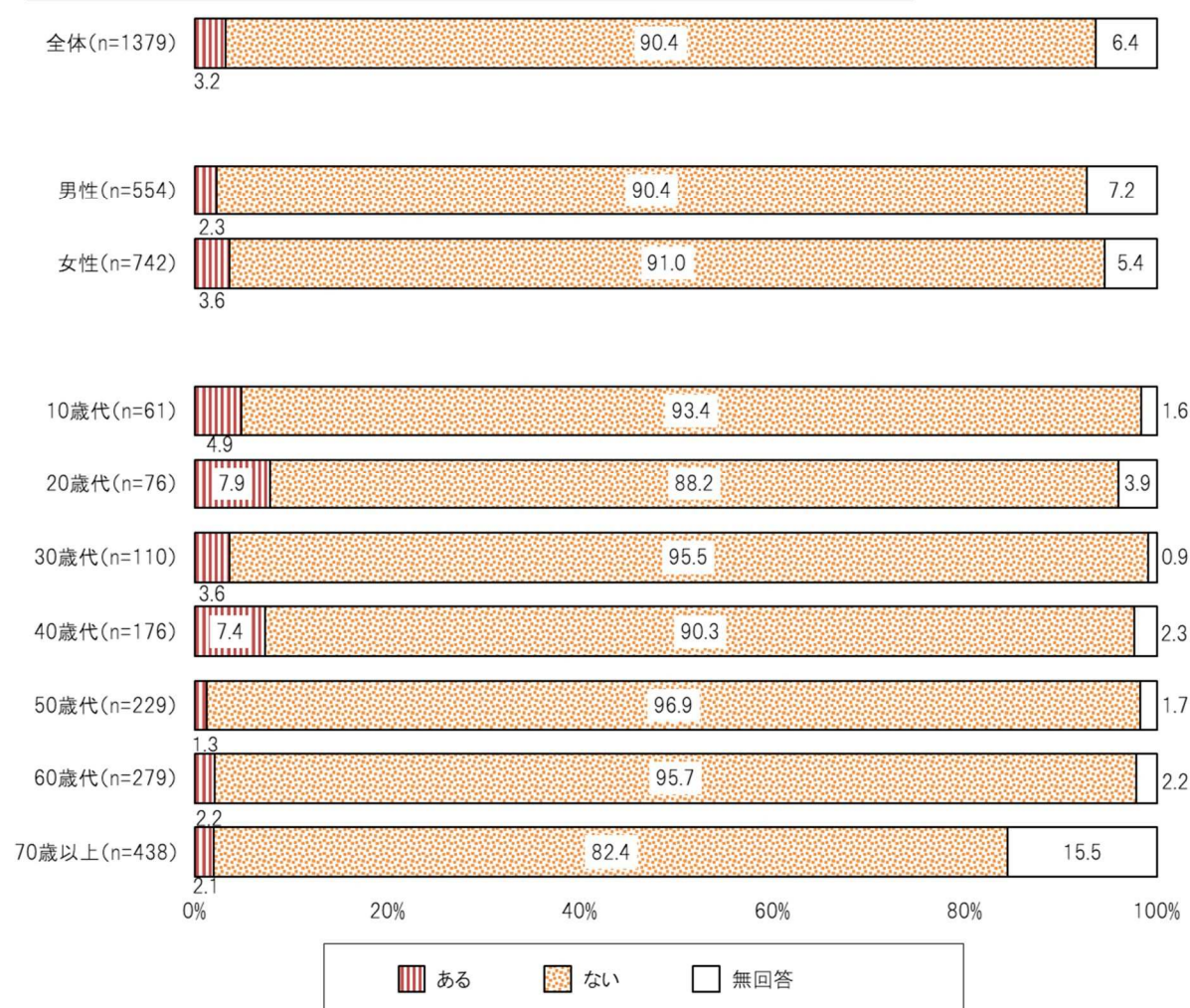
問 55 あなたはこれまでに自分の恋愛対象の性について悩んだり、自分の性に違和感を覚えたりしたことはありますか。（○は1つだけ）

「ない」が90.4%と最も高く、次いで「ある」3.2%となっている。

性別にみると、「ない」の割合は、男性が90.4%、女性が91.0%で女性の方が男性よりも0.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ない」の割合は50歳代で最も高く96.9%となっており、70歳以上で82.4%と最も低くなっている。

問55 あなたはこれまでに自分の恋愛対象の性について悩んだり、自分の性に違和感を覚えたりしたことはありますか



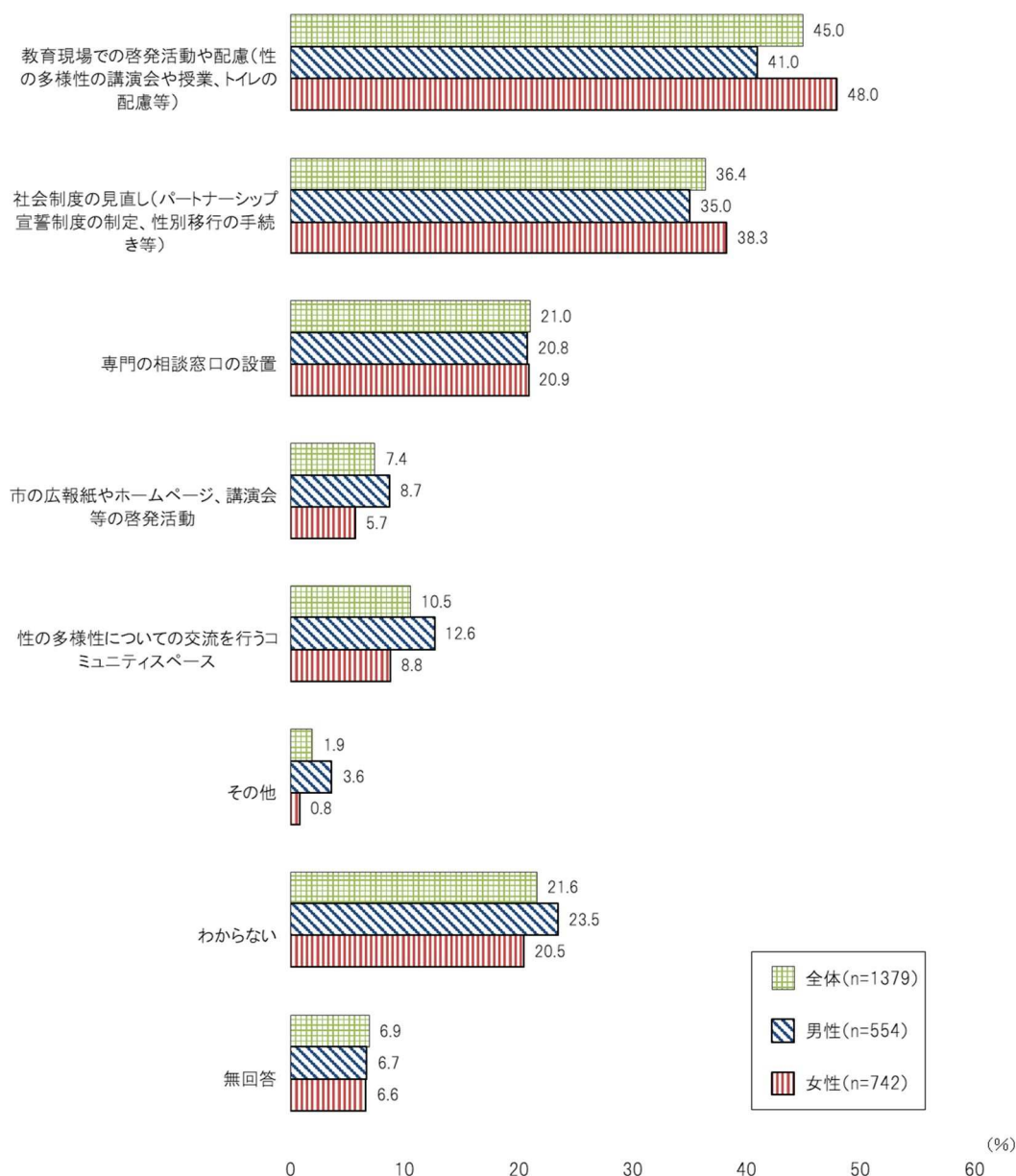
問 56 あなたは性の多様性を認め合う社会を作るためにどのようなことが必要だと思いますか。（〇は2つまで）

「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、トイレの配慮等）」が 45.0%と最も高く、次いで「社会制度の見直し（パートナーシップ宣誓制度の制定、性別移行の手続き等）」36.4%となっている。

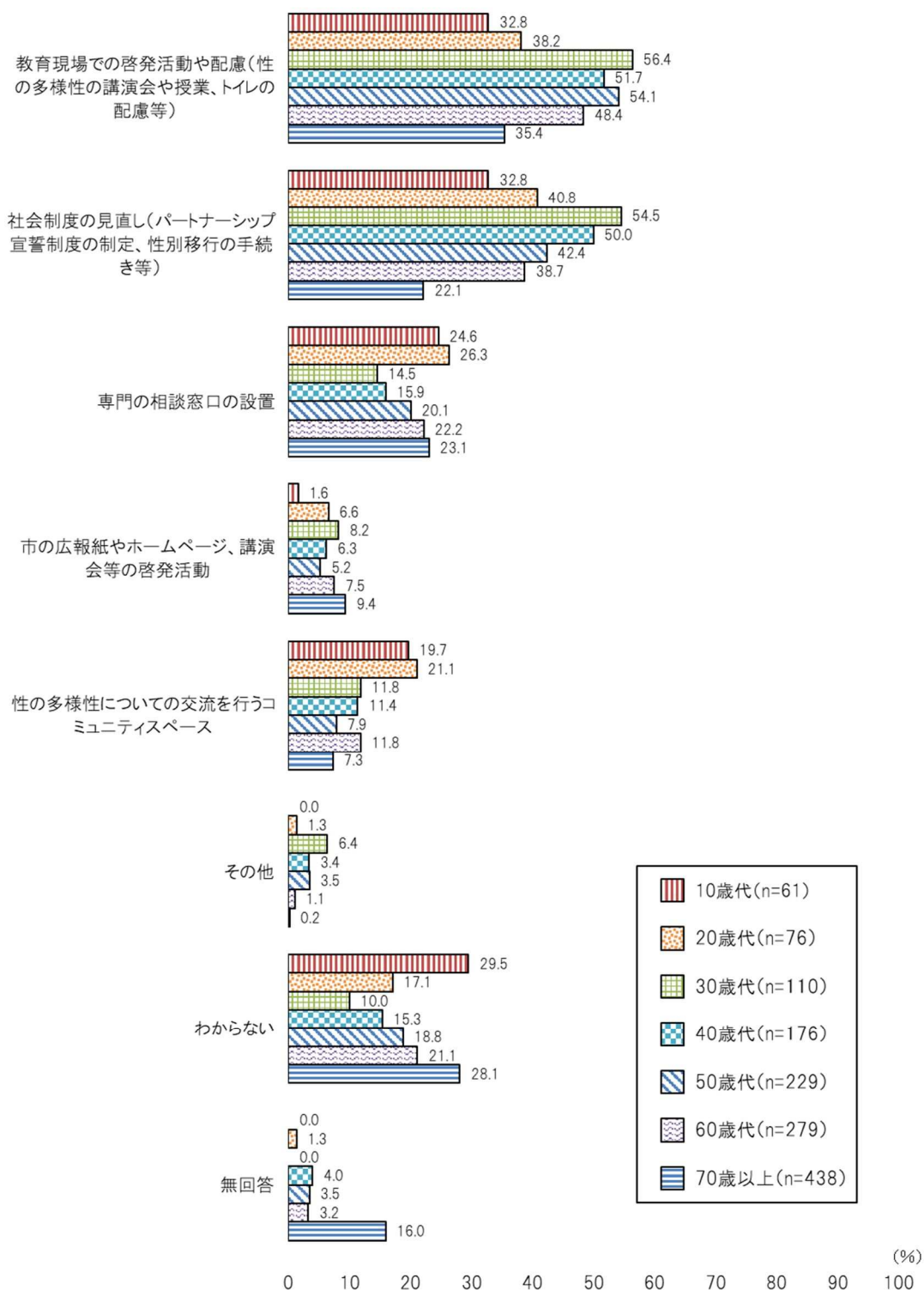
性別にみると、「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、トイレの配慮等）」の割合は、男性が 41.0%、女性が 48.0%で女性の方が男性よりも 7.0 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、トイレの配慮等）」の割合は 30 歳代で最も高く 56.4%となっており、10 歳代で 32.8%と最も低くなっている。

問56 あなたは性の多様性を認め合う社会を作るためにどのようなことが必要だと思いますか



問56 あなたは性の多様性を認め合う社会を作るためにどのようなことが必要だと思いますか



問 57 三重県では令和 3 年 9 月 1 日から「三重県パートナーシップ宣誓制度」が始まりました。松阪市でも「パートナーシップ宣誓制度」の制定が必要だと思いますか。
(○は 1 つだけ)

「今後制定していく必要がある」が 39.0%と最も高く、次いで「わからない」34.4%、「ただちに制定していく必要がある」15.2%となっている。

性別にみると、「今後制定していく必要がある」の割合は、男性が 35.2%、女性が 41.5%で女性の方が男性よりも 6.3 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「今後制定していく必要がある」の割合は 60 歳代で最も高く 43.7%となっており、20 歳代で 31.6%と最も低くなっている。

問57 松阪市でも「パートナーシップ宣誓制度」の制定が必要だと思いますか

